

I・TOP横浜「未来の家プロジェクト」 第6回実証実験を開始します ～外部情報連携機能を追加～



快適な暮らしをサポートし、将来の社会課題への対応を目指すI・TOP横浜「未来の家プロジェクト」は、第6回実証実験を泉区和泉町で開始します。

今までの実験内容に加えて、新たに宅内のディスプレイ等に地域情報や広告を表示して、居住者の情報受容度（情報の受け取り方）の検証を行います。将来的に、家に居ながらにして居住者に合わせた地域の情報が手元に届くことで、利便性を向上させることを目指します。

更に、今回の実証実験から新たにエステー株式会社が参画し、ご協力いただきます。

※本実験は、「相鉄いずみ野線沿線 次代のまちづくり」※1推進の一環です。

1 実証実験の概要

(1) 実証実験の内容

I・TOPスマートホーム®※2にて、被験者に1週間通常通りの生活をしてもらい、実験前後でのモニターの状態変化、意識変化、行動変容について評価・検証を行います。

(2) 実験期間及び場所

期間：令和3年10月12日（火）～令和3年12月20日（月）

場所：横浜市泉区和泉町3217-6

（相鉄いずみ野線ゆめが丘駅徒歩約10分）

実験予定人数：10名（被験者は実験関係者に限定）



2 第6回実証実験における新たな追加要素

「外部情報連携」

今回の実験では特定のタイミングで地域や暮らしに関する情報、広告を宅内ディスプレイ・テレビに表示させることで、居住者の情報受容度の検証を行い、将来的に生活者の趣味嗜好や生活行動に沿ったコンテンツを表示することによる居住者の利便性向上を目指します。



宅内のテレビ

3 新規参画

「エステー株式会社」

空気ビジネスの知見を活かして、自社の技術を基に今後のスマートホーム内における空間価値向上の検討を行います。

お問合せ先

- | | | |
|--|-------|------------------|
| ● I・TOP横浜「未来の家プロジェクト」に関すること
経済局産業連携推進課 担当課長 | 佐藤 慎一 | Tel 045-671-3591 |
| ● 相鉄いずみ野線沿線における「次代のまちづくり」事業に関すること
建築局住宅再生課 課長 | 加藤 忠義 | Tel 045-671-4543 |

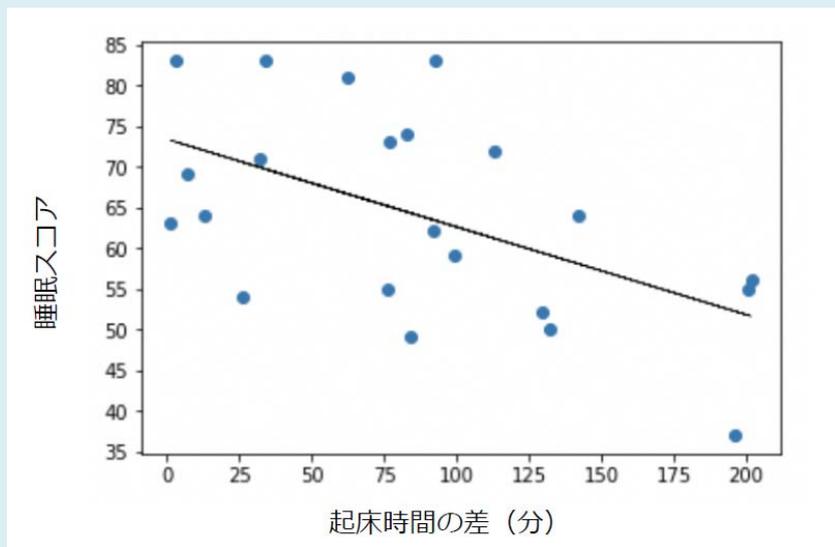
※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

【裏面あり】

【参考1】

第五回実証実験に関する結果

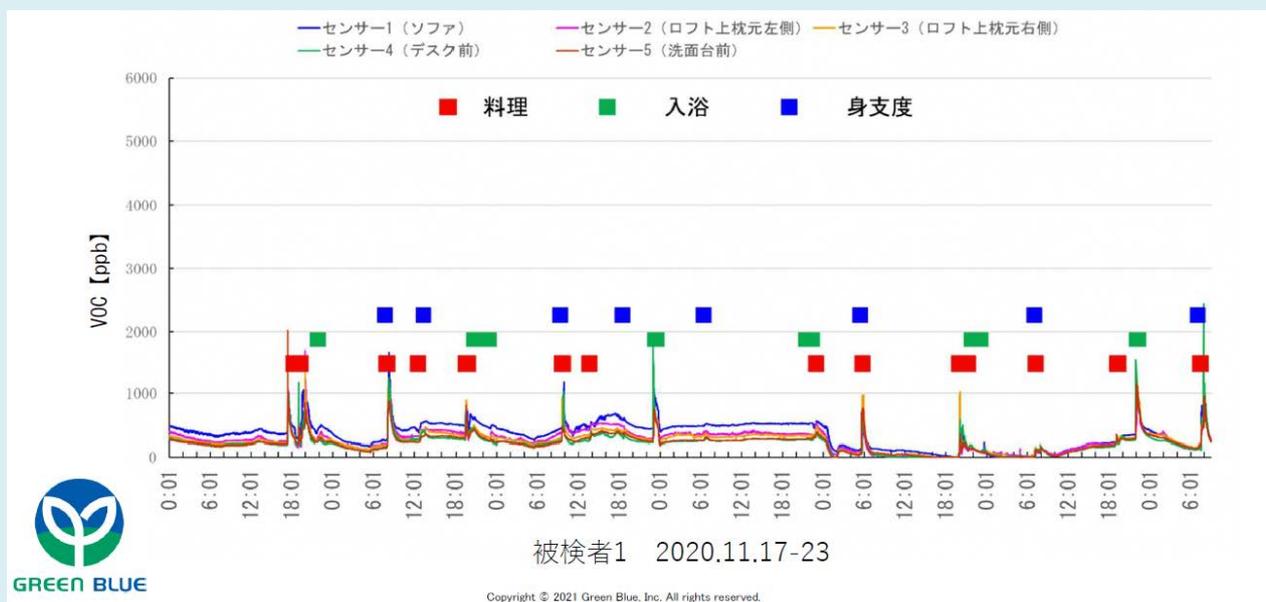
TAOS 研究所のデバイス「AiSleep」により計測された睡眠スコア（0～100点）に基づき、当日の起床時間と前日の起床時間の差分によって、睡眠スコアの比較を実施しました。（図1）結果として前日と当日の起床時間の差が小さいほど、質の良い睡眠となる傾向になることが実証されました。



（図1）睡眠スコアと起床時間の差に関する比較

また、グリーンブルー株式会社のデバイス「GBiot®(ジビオット)」をスマートホーム内5箇所に設置しデータを解析したところ、VOC（揮発性有機化合物）の発生と料理や入浴、身支度等の生活行動に一定の関連性のあることが分かりました。（図2）

こうした結果を踏まえ、今後はデータの相互関係の分析を通じて、居住者のより正確な行動推定や、日中の行動と睡眠や健康状態との相互関係について研究を深めます。



（図2）揮発性有機化合物（VOC）濃度変動と行動履歴の関係

【参考2】

【未来の家プロジェクトとは】

平成 29 年 6 月に発足した、住空間における IoT を活用して集積したデータを居住者にフィードバックし、快適で健康な暮らしをサポートし、将来の高齢者の独り暮らしや災害時の対応を目指す取り組みです。

未来の家
プロジェクト

プロジェクトメンバーの紹介



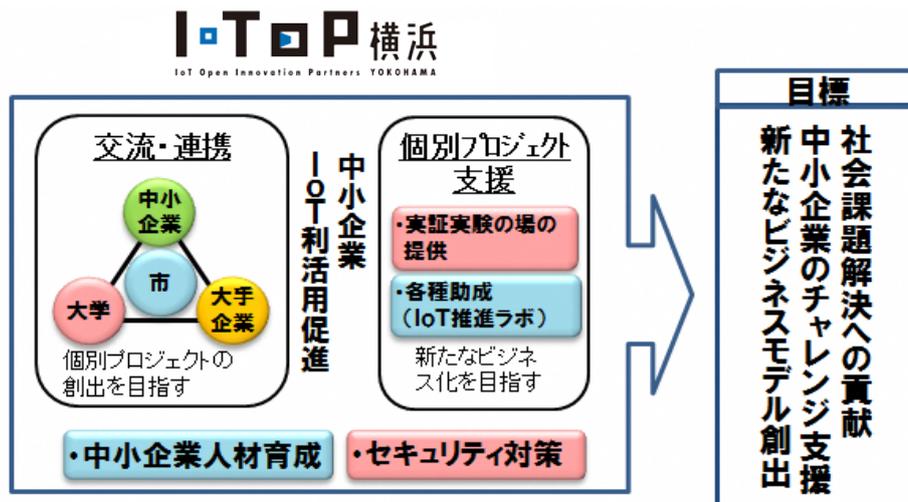
	<p>企業へのプロジェクト参加呼びかけ、実証実験場所の調整</p>		<p>IoTスマートホーム[®]、IoTアクセス制御エンジンの提供、データの管理・分析</p>
	<p>UI,UX デザイン、IoT プロダクトの事業化、事業化に関するノウハウ提供</p>		<p>最新のスマートフォン及び本機種に搭載された健康機能の提供</p>
	<p>実証実験への協力、地域コミュニティへの展開</p>		<p>床のセンサーで居住者の動作情報を収集できる IoT 建材によるセンシング</p>
	<p>食事解析システム・アドバイスの提供</p>		<p>環境測定装置の提供、室内外の空気質の計測、センサーの妥当性評価</p>
	<p>デバイスで操作できる IoT シャッターの提供</p>		<p>見守りセンサーを設置し、お部屋にいる方の活動の有無や出入りをモニター</p>
	<p>IoT スマートホームとつながり、新たなサービスを創出するインターホンの提供</p>		<p>窓まわりの IoT 化に貢献する電動ブラインドを提供</p>
	<p>香り制御装置「アロマシューター」の提供</p>		<p>IoT センサで香りを制御、睡眠など生活に適した香りを開発</p>
	<p>睡眠などの健康状態を可視化・解析するデバイスの提供</p>		<p>デバイスから状態確認、及び操作ができる IoT スマートロックの提供</p>
	<p>動きや生体情報を取得できるセンサー付ルームウェアの活用</p>		<p>IoT スマートホーム[®]における広告連携コミュニケーションサービスの開発を支援</p>
	<p>非接触システムによる日常動作の計測および分析</p>		<p>空気ビジネスの新技术を活かした室内空間の価値向上のための支援</p>

※未来の家プロジェクトウェブサイト（URL：<http://mirainoie-project.jp/>）

【参考3】

【I・TOP横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）とは】

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組みから個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



I・TOP横浜ウェブサイト
URL : <http://itop.yokohama/>

IoT Acceleration
Yokohama city Lab

※1 「相鉄いずみ野線沿線 次代のまちづくり」とは

平成25年4月に横浜市と相鉄ホールディングス株式会社が「相鉄いずみ野線沿線における『次代のまちづくり』の推進に係る包括連携協定」を締結しました。地域の皆様、企業、NPO、大学などの様々な主体と連携しながら、沿線全体でのまちの魅力を高める取組を実施しています。



※2 IoT スマートホームは株式会社NTTドコモの登録商標です。